

天竜区漫画 最終巻発刊

作者まるかわさん 市長に報告



天竜区を舞台にした「よるずのころ」第3巻を手にする、まるかわさん 浜松市役所

浜松市天竜区を舞台にした漫画「よるずのころ(こう)」の作者、まるかわさん 同市在住。住居がこのほど、市役所に鈴木康友市長を訪ね、同作品の最終巻となる第3巻が発刊されたことを報告した。

最終巻には同区一俣町のクローバー通り商店街や天竜一俣駅、同区水窪町の町並みなどが登場。まるかわさんは資料映像を撮影するため、自分で車を走らせて同区に通った。静岡文化芸術大学の学生時代に訪れた同区一俣町のレトロな町並みに魅せられ、舞台に選んだ。作品は2017年6月から漫画誌「WINGS(ウイングス)」で連載した。まるかわさんは「もつと長く続けたかった。地方在住の強みを出すため、また浜松や遠州を舞台にしたい」と意欲を示した。最終巻を手にした鈴木市長は「地元感が満載だね」と作品に見入り、「今度徳川家康が登場するような物語はどうか」と提案。次回作への期待を語った。3月25日から全国書店で販売中。新書館刊。670円(税別)。(浜松総局・瀬島義孝)